

製品説明書

Stein Music
C C S (Contact Clear System)

C C S は接点を清浄保ち、導通を安定させるシステムです。それはオーディオやビデオの信号伝送を根本的に改善します。

[C C Sの働きと効果]

全ての電気接点での共通の問題は、接触面が完全には密着していない点です。密着していない接触面は半導体効果を起こし、そこを通して送られる信号に明らかな歪みを生じさせます。もし接点表面が汚れているとさらにその現象は顕著です。そのため接点を常に清浄に保たなければならないわけですが、しかしながら、清掃だけでは接点の半導体効果を無くすことはできません。何故なら、ミクロ的に見れば、中途半端な接触になっている点が全て半導体効果を起こしているからです。

このような場所にC C Sが有効です。
Contact Fluid Cleaner 液で接点を清浄化し、Contact Fluid Premium 液では中途半端な接触面を完全に絶縁して半導体効果を防止します。

その効果は、オーディオではより自然に静かに再生し、映像系ではよりクリアな画像を再生します。

[処理方法]

まず、Contact Fluid Cleaner 液を使用して接点を綺麗に掃除し、それを乾いた布で拭き取りながら完全に乾かしてください。
次に、付属のブラシを使い、Contact Fluid Premium 液を接点全体に薄く均一に塗布して下さい。

使用方法是これだけです。
あとは、Contact Fluid Premium 液を塗布した状態のままコネクタをしっかりと差し込んで下さい。

C C Sは、カートリッジソケット部やR C Aプラグ、スピーカターミナルなど、システム内の全ての接点に使用して下さい。特に高解像度の再生システムでこそ使用前後の差が顕著に顕れ、よりリアルな空間を再生するようになります。

[再処理周期]

C C Sは300 以下の環境であれば長期間安定に機能します。常温環境であれば1年毎の再処理で十分ですが、真空管のピンなど温度条件が高い場合は10ヶ月程度で処理を繰り返して下さい。

[御注意]

C C Sは不活性ですが、350 以上に加熱された場合有害なガスを発生します。
このため特に、タバコの火を近づけないようご注意下さい。
安全のため、機器の電源が入った状態ではC C S処理を行わないで下さい。
真空管ソケットは、電源を切った後もしばらくは高電圧を維持している場合がありますのでご注意下さい。
感電の危険がある場合には絶対に使用せず、詳しい人にご相談ください。真空管への適用は足だけにして下さい。金属製カバー(ソケット)などは高温になりますので使用しないで下さい。

[追伸]

是非C C Sをパソコンのディスプレイコネクタに試してみてください。その差は歴然と顕れます。

Oct/2002 PractSoundSystem